

キャリアショップの展開状況と店舗一覧 2023春 (集計結果編)

2023年4月11日

株式会社 **MCA**

目次

はじめに	2
調査概要	3
I. キャリアショップ展開状況	
1. 各社キャリアショップの展開	5
図：キャリアショップ数の推移（単位：店舗）	
図：国内キャリアショップ数（ブランド別）	
図：メインブランドのキャリアショップ数推移	
2. 多様化する店舗網：ダブルブランド店／郵便局店の活用状況	7
図：キャリアショップとダブルブランド店（単位：店舗）	
表：楽天モバイルの店舗展開（単位：店舗）	
3. 各社キャリアショップの展開（都道府県別）	8
図：都道府県別 キャリアショップ減少状況	
図：都道府県×ブランド 店舗増の状況	
表：キャリアショップ数（ブランド別）（都道府県別）	
表：キャリアショップ数 都道府県別の増減状況	
表：キャリアショップ数 都道府県×ブランド別 増減比較	
4. メインブランドショップのダブルブランド化状況	12
図：auブランドショップにおけるUQ mobile取扱状況	
図：ソフトバンクショップにおけるワイモバイル取扱状況	
－auブランドショップにおけるUQ mobile取扱い	
図：auブランドショップにおけるUQ mobile取扱状況（都道府県別）	
表：auブランドショップおよびUQ mobile取扱店の店舗数（都道府県別／単位：店舗）	
－ソフトバンクショップにおけるワイモバイル取扱い	
図：ソフトバンクショップにおけるワイモバイル取扱状況（都道府県別）	
表：ソフトバンクショップおよびワイモバイル取扱ソフトバンクショップの店舗数（都道府県別／単位：店舗）	

5. 店舗リニューアルの進展状況	17
－ドコモショップからd gardenへのシフト	
図：ドコモショップとd garden店舗数	
図：d garden店舗数の推移（単位：店舗）	
表：d garden店舗一覧	
－auショップからau Styleへのシフト	
図：auブランドショップに占めるau Style店舗数	
図：au Style店舗数の推移（単位：店舗）	
図：auショップおよびau Style店舗数（都道府県別）	
表：auショップおよびau Style店舗数（都道府県別／単位：店舗）	

II. キャリアショップ数の都道府県別推移

1. キャリアショップ数の都道府県別推移（2020年8月以降）	22
表：キャリアショップ数の都道府県別推移【ソフトバンク】	
表：キャリアショップ数の都道府県別推移【NTTドコモ】	
表：キャリアショップ数の都道府県別推移【au(KDDI)】	
表：キャリアショップ数の都道府県別推移【ワイモバイル】	
表：キャリアショップ数の都道府県別推移【楽天モバイル】	
表：キャリアショップ数の都道府県別推移【UQ mobile】	

はじめに

携帯回線の契約獲得において最前線に立ち続けてきたキャリアショップ。しかし、コロナ禍による来店制限や、オンラインショップの強化など、店舗をとりまく環境は厳しさを増している。

これまでは、既存キャリアが店舗網を縮小する一方、新規参入の楽天モバイルが積極的に店舗展開を行ってきたことで、トータルでの店舗数はゆるやかな変動にとどまっていた。しかし同社も23年度に入って郵便局内店舗の大半(約200箇所)を閉鎖すると発表、通常の店舗も採算性から判断するとの意向が示された。約7割がオンラインでのサインアップという同社の現状を鑑みれば、リアル店舗の削減は避けられそうにない。

また、NTTドコモも25年度までに約700店を圧縮すべく、既然大ナタを振るい始めており、これまで全国に築き上げてきた店舗網には暗雲が漂う状況だ。昨年12月には、ノジマが携帯代理店業界3位のコネクシオを買収すると発表、株式公開買付を経て今年2月に子会社化されるなど、店舗を実際に運営する販売代理店の再編が加速している。

そのような中、NTTドコモが今春に立ち上げた「ドコモのオンライン窓口」では、オンラインで受け付けた機種変更などの手続きをドコモショップのスタッフが処理する枠組みを採用、リアルとオンラインの融合を模索する動きも見受けられる。

本レポートでは、キャリア各社の店舗網を分析することにより、各社の顧客接点確保の状況を明らかにすることを目的としている。あわせて、分析に用いた店舗一覧をデータとして添付することで、独自の分析・集計も可能にした。今後の店舗展開や店舗の実態把握の一助となれば幸いである。

2023年4月
株式会社MCA

調査概要

・調査対象通信ブランド

ソフトバンク、NTTドコモ、au、ワイモバイル、楽天モバイル、UQ mobile
(対象企業:ソフトバンク、NTTドコモ、KDDI、楽天モバイル、沖縄セルラー)

・調査対象店舗および「キャリアショップ」の定義

調査対象店舗(データ編において店舗一覧として収録しているもの)は下記表の通り。
また、本レポートでは、表中の赤枠内を「キャリアショップ」と定義している。

NTTドコモ	ドコモショップ	d garden		
au	auショップ	au Style/KDDI直営店 ／コンセプトショップ	UQスポット (au取扱店)	トヨタ au取扱店
ソフトバンク	ソフトバンクショップ			
ワイモバイル	ワイモバイルショップ	ソフトバンクショップ (ワイモバイル取扱店)	取扱店	
UQ mobile	UQスポット	UQ mobile取扱店 (au Style / auショップ内併設)	UQ mobile取扱店	
楽天モバイル	楽天モバイルショップ (楽天カフェ等含む)	楽天モバイル 郵便局店 (申込等カウンター)	楽天モバイル取扱店 ／リモート契約ショップ	

・調査方法

2023年2月中旬時点における、各社公開情報や弊社データベースなどをもとに、2月中旬～4月にかけてMCAが独自に分析・調査を行った。

I. キャリアショップ展開状況

1.各社キャリアショップの展開

キャリアショップ数は半年間で184店減の7794店に

- ・4キャリア(ワイモバイル、UQ mobileを含む6ブランド)が展開するキャリアショップは、全国に7794店舗存在している。半年前(2022年8月)の7978店から184店(2.31%)減少した。
- ・6ブランドで最も減少幅が大きかったのはNTTドコモで、半年前と比べ81店減となった。1年前(22年2月)と比べると100店減を記録した。25年度までに約700店減との方針が伝わっていたが、いよいよ大量閉店が現実のものとなった。
- ・半年前と比較し、ソフトバンクは18店、auも9店、それぞれ減少しているものの、ドコモと比べてそのペースは緩やかだ。この結果、店舗数でソフトバンクとNTTドコモの順位が入れ替わった。

サブブランドだけでなく楽天も店舗減に転じ「総崩れ」

- ・これまでキャリアショップの新設を続け、右肩上がり店舗数を増やしてきた楽天モバイルだが、今回の調査では半年前と比べて8店の減少に転じた。
- ・メインブランド店舗での併売にシフトしているサブブランドも、この半年でワイモバイルが39店、UQ mobileが29店、それぞれ店舗を削減している。調査対象の6ブランドすべてで店舗数が減少し、総崩れの状態といえる。
- ・なお、量販店内に設置されているコーナーならびに併売店などの取扱店、楽天モバイルの郵便局店(申込カウンター)は、本調査においてはキャリアショップとしてカウントしていない。

図:キャリアショップ数の推移(単位:店舗)

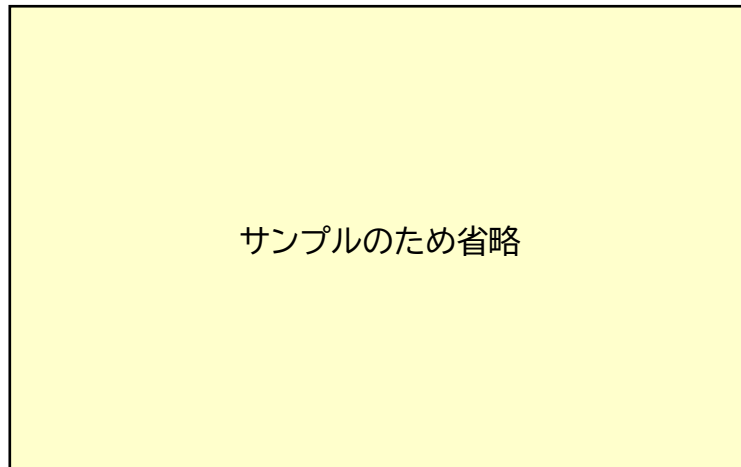
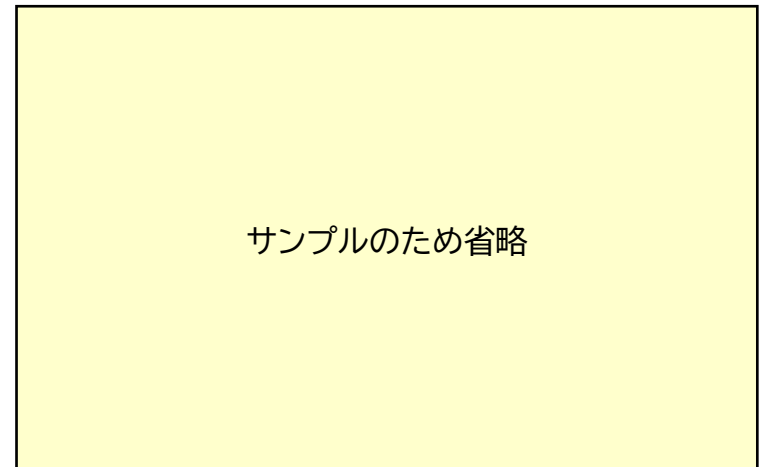


図:国内キャリアショップ数(ブランド別)



2.多様化する店舗網:ダブルブランド店／郵便局店の活用状況

サブブランドはダブルブランド拡充で単独店は縮小傾向
 ・以前のキャリアショップは、「ドコモショップ」のように、1つのブランドのみを扱う店舗が中心的存在となっていた

楽天モバイル、郵便局内カウンターを80店閉鎖
 ・新規参入の楽天モバイルも、キャリアショップの縮小に動き始めた。
 これまで増加基調だったが、今回の調査では8店減を記録した

サンプルのため省略

図:キャリアショップとダブルブランド店(単位:店舗)

サンプルのため省略

図:楽天モバイルの店舗展開(単位:店舗)

サンプルのため省略

※「ダブルブランド店」について:
 ワイモバイルを併売するソフトバンクショップの店舗数、UQ mobileを併売するauショップの数を示す。なお、本調査において「キャリアショップ」の数には含まれていない。

※「量販店等」について:
 家電量販店内のカウンターや、ブース型の無人店舗「リモート契約ショップ」の数を示す。なお、本調査において「キャリアショップ」の数には含まれていない。

II. キャリアショップ数の都道府県別推移(2020年8月以降)

*同梱しているExcelファイルには、2019年2月以降の店舗数推移を掲載しております。
→ファイル名:careershop-2023-spring-db3.xlsx

1. キャリアショップ数の都道府県別推移(2020年8月以降)

表: キャリアショップ数の都道府県別推移【ソフトバンク】

	20年8月	21年2月	21年8月	22年2月	22年8月	23年2月
北海道						
青森県						
岩手県						
秋田県						
宮城県						
山形県						
福島県						
茨城県						
栃木県						
群馬県						
埼玉県						
千葉県						
東京都						
神奈川県						
山梨県						
長野県						
新潟県						
富山県						
石川県						
福井県						
静岡県						
愛知県						
岐阜県						
三重県						

サンプルのため省略

	20年8月	21年2月	21年8月	22年2月	22年8月	23年2月
滋賀県						
京都府						
大阪府						
兵庫県						
奈良県						
和歌山県						
鳥取県						
島根県						
岡山県						
広島県						
山口県						
香川県						
愛媛県						
徳島県						
高知県						
福岡県						
佐賀県						
長崎県						
熊本県						
大分県						
宮崎県						
鹿児島県						
沖縄県						
合計						

サンプルのため省略

キャリアショップの展開状況と店舗一覧 2023春

(集計結果編)

発刊日: 2023年4月11日
頒価: 88,000円(本体80,000円+税)
調査・編集: 株式会社 エムシーエイ
発行: 株式会社 エムシーエイ
〒102-0072
東京都千代田区飯田橋1-8-8 ASKビル 5F
TEL:03-6261-2571 FAX:03-6261-2572
URL:<http://www.mca.co.jp/> E-Mail:info@mca.co.jp

情報通信分野の市場調査「カスタムプロジェクト」のご案内

MCAは市場環境・動向、競合企業戦略、ユーザニーズなどの分析を通じ、事業戦略立案に貢献できる情報を提供します。

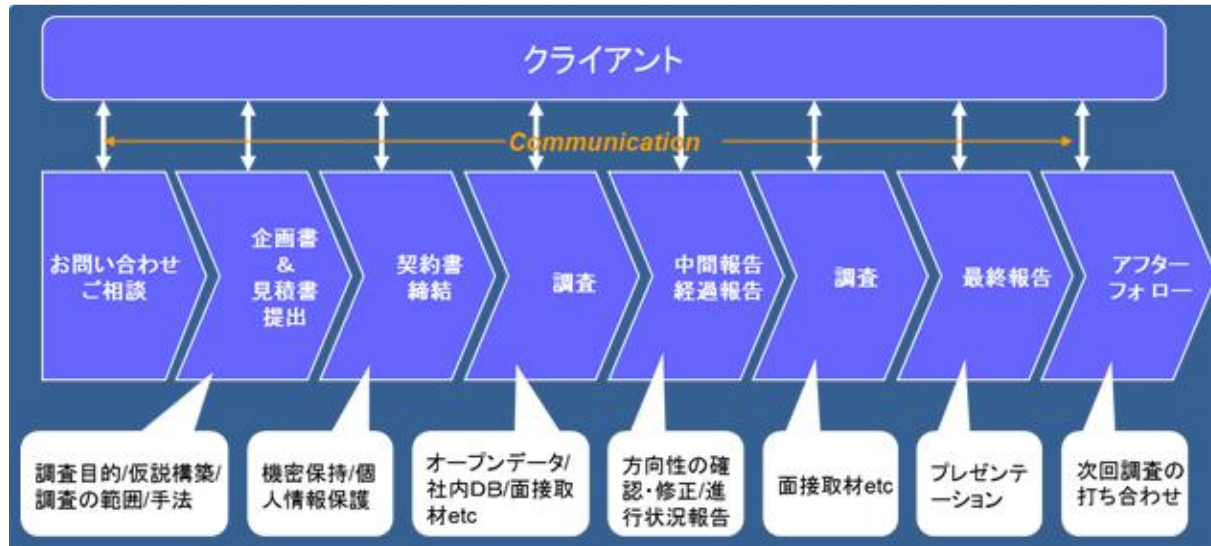
MCAでは、マーケティングレポートの提供とあわせ、市場調査「カスタムプロジェクト」事業を展開しています。

カスタムプロジェクトはクライアントの委託を受け、当社スタッフが調査分析を行います。市場環境/市場動向分析・競合企業戦略分析、ユーザニーズ分析などを必要に応じて行い、事業戦略立案に役立つ情報を提供します。プロジェクトの受注にあたり、お客さまとの秘密保持契約を締結した上で進めさせていただき、情報が外部に漏れることはございません。

MCAでは、移動体通信産業をコアとしたIT分野で、年間10本程度のカスタムプロジェクトをドライブしています。

MCAのアナリストは常に業界関係者とのコミュニケーションを重視しており、継続的な情報収集を行っています。カスタムプロジェクトでは、お客さまとの密接なコミュニケーションが最終的なアウトプットに大きな影響を及ぼすというのがMCAの考えです。

■カスタムプロジェクトのフロー



情報通信分野の市場調査「カスタムプロジェクト」のご案内

■カスタムプロジェクトのドメイン

Menu Angle \ Market		mobile/IT					
		Contents	Application	Platform	Network	Handset	Device
Regulation/Technology		●	●	●	●	●	●
Market	市場規模/シェア	●	●	●	●	●	●
	市場予測/シナリオ	●	●	●	●	●	●
	ニーズ探索	●	●	●	●	●	●
	流通チャネル	●	●	●	●	●	●
competitor	事業戦略・組織	●	●	●	●	●	●
	商品・サービス競争力分析	●	●	●	●	●	●
	市場ポジショニング分析	●	●	●	●	●	●
	サプライチェーン	●	●	●	●	●	●
Consumer		●	●	●	●	●	●

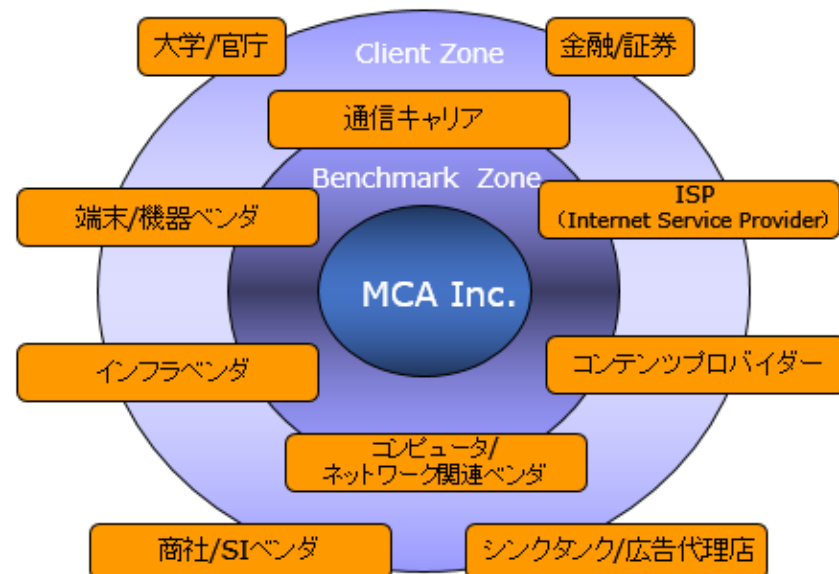
■ MCAのドメイン ■ MCAのサブドメイン

情報通信分野の市場調査「カスタムプロジェクト」のご案内

■過去のカスタムプロジェクト実績(一例)

テーマ(仮題)
法人事業の競争力強化へ向けた戦略調査
基地局附帯設備のコスト構造に関する研究
通信事業者のデジタルトランスフォーメーションへの取り組み分析
携帯代理店の競争環境に関する研究
国内通信インフラ事業参入における競合他社実態調査
特定端末のサービス保守に関する調査
競合他社における携帯端末のサプライチェーンに関する研究
特定通信設備に関するフィージビリティスタディ分析
LTE時代におけるサービスプラットフォームに関する研究
携帯基地局におけるコスト削減プロジェクト
MVNO参入へ向けたコンサルティングプロジェクト
LTE時代におけるサービスアプリケーションの探索調査
モバイルブロードバンドの将来展望
MVNO市場における参入シナリオ
通信キャリアのインフラ戦略
海外ベンダーの国内参入コンサルティング
無線LANサービスに関する需要予測

■クライアント属性



■カスタムプロジェクトに関する詳細・お問い合わせ

株式会社 MCA

〒102-0072

東京都千代田区飯田橋1-8-8

ASKビル 5F

TEL: 03-6261-2571

FAX: 03-6261-2572

E-Mail: info@mca.co.jp

